

ワンコイン ハートフルコンサート

with 河芸町文化協会

河芸公民館リニューアル記念

2023年7月16日(日)
13:30 開場 14:00 開演

津市河芸公民館 大ホール

〒510-0314 津市河芸町浜田742

プログラム

■第1部

源田 俊一郎「いつの日か」より
「七つの子」「月の沙漠」「証城寺の狸囃子」(合唱)

山田 耕祐「からたちの花」(歌)

エリック・サティ「ジュ・トウ・ヴ(あなたがほしい)」(ピアノ・ソロ)

なかにし あかね「今日もひとつ」より

「いつだったか」「今日もひとつ」(女声合唱)

シークレット・ガーデン「ユー・レイズ・ミー・アップ」(サクセス・ピアノ)

久石 譲「となりのトトロ」より「さんぽ」(合唱、歌)

イギリス民謡より「グリーンズリーブス」(合唱、オーボエ)

休憩

■第2部「昭和歌謡」

谷村 新司「昴」(大正琴アンサンブル)

森 正明「また君に恋してる」(サクセス・ピアノ)

チェリッシュ「てんとう虫のサンバ」(歌、ピアノ)

いずみ たく「見上げてごらん夜の星を」(大正琴アンサンブル)

久保田 早紀「異邦人」(ピアノソロ)

美空 ひばり「川の流れのように」(オーボエ、ピアノ)

中村 八大「上を向いて歩こう」

※曲目は予告なく変更となる場合がございます。

出演者



協岡 総一
(オーボエ)



木下 和美
(ソプラノ)



森本 千賀子
(ソプラノ)



野木 亜沙美
(MC)



小畑 真梨子
(ピアノ)



大正琴サークル・ひとみ会「あいあい」
(河芸町文化協会)



コール・アゼイリア丸地 麻美 (ピアノ)
(河芸町文化協会)



ベーゼン・ドルチェ
(河芸町文化協会)



合唱団
プリマヴェーラ

津市河芸公民館 駐車無料 (台数に限りあり)



チケット販売

全席自由(一般) **500円** (税込)

※3歳以下のお子様の膝上鑑賞は無料。
お席が必要な場合は有料。

発売日: **2023年5月6日(土)**

8:30~ 電話受付 (059-253-4161)

10:00~ 窓口受付

チケットお引取りについて

公演前日まで: 久居アルスプラザ (8:30~22:00)
公演当日: 河芸公民館大ホール前受付 (12:30~)

※チケット予約は久居アルスプラザのみのお取り扱いとなります。※事前予約が定員に達した場合、当日券の販売はございません。

■注意事項 ●本公演は客席収容率100%で開催します。●体調のすぐれない方はご来場をお控えください。●客席内では、咳エチケットへのご協力をお願いします。

【主催】津市久居アルスプラザ(指定管理者 株式会社ケイミックスパブリックビジネス) 【後援】レディオキューブFM三重

お問合せ



久居アルスプラザ

TEL: 059-253-4161 (久居アルスプラザホームページからもお問い合わせいただけます)

休館日: 毎週火曜日(祝日の場合は翌平日)、12月29日~1月3日

〒514-1136

三重県津市久居東鷹跡町246番地

近鉄久居駅より徒歩約11分

公共交通機関でのご来館に
ご理解とご協力をお願いいたします。

アルスプラザ
ホームページ



ワンコイン ハートフルコンサート

with 河芸町文化協会

プロフィール

脇岡 総一

(宗一)

指揮・オーボエ

津市久居アルスプラザ館長

Soichi WAKIOKA

東京藝術大学音楽学部卒業。その間、1969年日本音楽コンクール入選、安宅賞受賞、卒業特別演奏会、NHK新人演奏会出演。民音室内コンクール入選。その後東京都交響楽団首席オーボエ奏者をつとめる。文化庁海外派遣研修生として西ドイツ／ハンブルクに留学。武満徹主催の「ミュージックトゥデイ」等を始めとする数多くの演奏会に出演。日本の第一線のプレーヤーを集めた「アウロス チェンバー アンサンブル」を主宰して日本各地での演奏会、NHK放送などを行う。ウィーン・トリ

オ等海外の演奏家との共演も数多く、日本を代表するオーボエ奏者として活躍する。日本音楽コンクール等多くのコンクールの審査員もつとめている。東京都交響楽団退団後、高知大学教育学部教授、茨城大学教育学部特任教授を歴任。2018年北九州ソレイユホール館長を務め、2020年4月より津市久居アルスプラザ館長を務める。
平成音楽大学客員教授、高知大学名誉教授。

森本 千賀子

ソプラノ

Chikako MORIMOTO

三重大学教育学部卒業。愛知県立芸術大学大学院修了。これまでにソロリサイタルをはじめ、ジョイントコンサート、宗教曲のソリスト、オペラ出演など幅広く演奏活動を行なう。また長年にわたり合唱活動・合唱指導に携わり、客演指揮や音楽研究会講師として講演、実技指導、招待演奏などの活動にも力を注

いできた。

現在、名古屋芸術大学、高田短期大学、各非常勤講師。三重新音楽家協会会員、愛芸MIE会長、ローゼンクランツ声楽研究会主宰、合唱団プリマヴェーラ指揮者。

木下 和美

ソプラノ

Kazumi KINOSHITA

相愛大学音楽学部声楽科卒業、同研究科終了。第2回みえ音楽コンクール2位、第5回日本クラシック音楽コンクール入選、朝日推薦演奏会、なにわ芸術祭に出演。また、リサイタル、子どものための音楽会に出演。近年はジョイントリサイタル(Beato concerto)やカフェコンサートに力を入れており好評を得ている。
オペラでは三重音楽発信vol.5「フィガロの結婚」スザンナ、vol.7「ドン・ジョヴァンニ」ジェルリーナ、vol.9「魔笛」パパゲーナ、「コシ・ファン・トゥッテ」デスビーナ、「メリー・ウィドウ」ヴァ

ランシエンヌ、「ヘンゼルとグレーテル」グレーテル、「カルメン」ミカエラ、「太陽の黄金の林檎」姫/ナイチンゲール、「おこんじょうり」おこん、「泣いた赤鬼」木こりの娘、「いのち」奈々子等、多数のオペラに出演。特にスープレット役を得意としその演技力は高く評価されている。また「第九」「カルミナ・ブラーナ」のソリストを務め、その活動の幅を広げている。
三重オペラ協会会員、松阪声楽ソロの会会員、高田短期大学非常勤講師。

小畑 真梨子

ピアノ

Mariko OBATA

国立音楽大学器楽学科ピアノ科卒業。日本大学芸術学部芸術学研究科博士前期課程音楽芸術専攻修了。学部在学中、国立音楽大学岡田九郎記念奨学生に選ばれる。大学主催ソロ・室内楽定期演奏会出演。卒業演奏会出演。第33回永ピアノオーディション合格、新人コンサート出演。第42回東京国際芸術協会新人オーディション合格、新人コンサート出演。第6回松井クラシックのつどい「若い芽のフレッシュコンサート」出演。スタインウェイサロンオープニングコンサート2002出演。富

士ゼロックス竹松事業所サロンコンサート出演。クールシェパード国際音楽アカデミーinかさま参加。TOYOTA dream car ArtContest「Infiorata Event」Web Movie music担当2009年、2012年、ジョイントリサイタル開催。
2009年、2014～16年、2019～20年、ソロリサイタル開催。ソロ・室内楽、アウトリーチコンサートなど幅広く活動。三重大学教育学部准教授。

合唱団プリマヴェーラ

※ プリマヴェーラ(伊語:春の意)

合唱

2001年春、10数名の合唱団員で発足し、現在は50名近くになる。

指揮者の森本千賀子先生を中心に、毎週水曜日に練習し、合唱の楽しさを感じている。

2022年4月三重県総合文化センター大ホールで、ゾントーク室内合奏団との合同演奏会を実施、530人もの方々にご来場いただいた。歌うよろこびとハーモニーづくりを重ねながら、2024年4月7日第9回定期演奏会を目指して励んでいる。

河芸町文化協会

コール・アゼイリア 丸地 麻美(ピアノ)

大正琴サークル・ひとみ会「あいあい」

ベーゼン・ドルチェ

文化的な町づくりをめざし、幅広い文化活動と会員相互の連絡協調と親睦を深めることを目的として昭和62年設立。昭和63年、県下で初めて「生涯学習の町」を宣言した旧河芸町は、毎年、教養講座や課題講座を数多く開設し、現在でも続いている。この講座の修了者がサークルを作って、公民館を中心に活動を始めることが多く、その受け皿としての役割を果たすようになり、今では、文化協会が行政との橋渡し役を務めている。毎年の河芸文化祭の開催を中心となって進めるほか、研修の成果を外部でも発表できるよう活動助成を行う。会長、西川ひとみ。

ベーゼンドルファーピアノについて

「ウィーンの至宝」と呼ばれるベーゼンドルファーピアノを生み出したベーゼンドルファー社は「音楽の都ウィーン」で1828年に設立されました。ウィーン式フォルテピアノの設計思想を色濃く残す独特の胴体設計が特徴で、1年以上の月日をかけて全工程を手作業で作る「ウィーンナートーン」と呼ばれる美しい音色を醸し出します。

その昔圧倒的な超絶技巧を誇るフランツ・リストの激しい演奏に対応できた唯一のピアノということで、ベーゼンドルファーの名声は一気に高まりました。数々の歴史あるピアノブランドが衰退していく中、その人気を長らくスタインウェイと二分してきました。その音色は至福の音色と呼ばれ、現在でも多くの演奏家に愛されています